

## 九州大学寄附講座等一覧

平成30年4月1日現在

設置期間及び 設置年月	講座名	部局	設置目的	寄附金額	教員	寄附者
30.4.1～ 33.3.31 (3年間) 平成30年4月設置	循環器病病態治療講座	大学院 医学研究院	九州大学における循環器病の病態解明と治療に関する基礎および臨床研究の推進。	総額 100,000千円	寄附講座教員 (准教授) 井手 友美 寄附講座教員 (講師) 大谷 規彰	アクテリオン ファーマシ ューティカルズ ジャパン 株式会社
30.2.1～ 33.1.31 (3年間) 平成23年2月設置 平成27年2月更新 平成30年2月更新	人工関節生体材料学講座	大学院 医学研究院	人工関節に関する学生教育、臨床的評価および次世代に向けた研究開発を行う。近年、人工股関節への適応例は増加の一途をたどっており、関節疾患治療の中心的な役割を占めるに至った。本講座では人工関節に関する教育、および人工股関節をバイオメカニクス及びマテリアルの観点から解析・検証し、革新的な次世代人工関節を開発する事を目的とする。	総額 72,000千円	寄附講座教員 (准教授) 福士 純一 寄附講座教員 (助教) 山口 亮介	京セラメディカル株式会社
30.4.1～ 33.3.31 (3年間) 平成30年4月設置	味覚センサ講座	大学院シス テム情報科 学研究院	本研究部門は、近年発展の著しいCPS (Cyber Physical System)またはIoT (Internet of Things) を背景にナノテクノロジー、バイオロジー、センサ技術、感性科学を融合することで、グローバル社会に対応できる味覚センサの研究開発を行うと同時に、その成果を学生および社会に普及させるための教育と研究の充実を図ることを目的とする。	総額 51,000千円	寄附講座教員 (准教授) 矢田部 壘	株式会社味香り戦略研究所 株式会社インテリジェント センサーテクノロジー 総合商研株式会社
29.12.1～ 34.11.30 (5年間) 平成29年12月設置	船舶海洋人材育成講座	大学院工学 研究院	我が国における船舶・海洋教育の将来への継承化と発展のための人材育成を目的とした教育研究の進展及び充実に資することを目的とする。	総額 105,000千円	寄附講座教員 (教授) 木村 元	株式会社大島造船所

設置期間及び 設置年月	講座名	部局	設置目的	寄附金額	教員	寄附者
29.4.1～ 32.3.31 (3年間) 平成26年4月設置 平成29年4月更新	放射線医療 情報・ネット ワーク講 座	大学院 医学研究 院	横溢する画像情報の統合、融合、処理方法の開発、 画像医療（画像診断、放射線治療）への活用、さら にはこの情報をネットワーク医療として活用するた めの新しい研究分野として、本講座を開設する。	総額 90,000千円	寄附講座教員 (准教授) 野元 諭 寄附講座教員 (助教) 浅井 佳央里 寄附講座教員 (助教) 松本 圭司	富士フイルム株式会社 富士フイルムメディカル株 式会社
29.4.1～ 32.3.31 (3年間) 平成29年4月設置	連携病態修 復内科学講 座	大学院 医学研究 院	総合内科学を基礎とする地域包括ケアシステムのリ ーダー育成。	総額 141,000千円	寄附講座教員 (准教授) 草場 仁志	佐世保市
29.4.1～ 32.3.31 (3年間) 平成29年4月設置	地域連携小 児医療学講 座	大学院 医学研究 院	佐世保地域の小児・周産期医療体制に関する研究を 行うことにより、当該地域の小児および周産期医療体 制の維持のための方策を得る。	総額 75,000千円	寄附講座教員 (准教授) 古賀 友紀	佐世保市
29.4.1～ 32.3.31 (3年間) 平成18年5月設置 平成23年5月更新 平成25年4月更新 平成26年4月更新 平成27年4月更新 平成28年4月更新 平成29年4月更新	包括的腎不 全治療学講 座	大学院 医学研究 院	包括的な腎不全治療を可能にする体制を構築し、安 全で患者満足度の高い多様な腎不全治療の選択肢を提 供することで地域医療の向上に貢献することを目的と する。	総額 60,000千円	寄附講座教員 (准教授) 鳥巢 久美子	バクスター株式会社

設置期間及び 設置年月	講座名	部局	設置目的	寄附金額	教員	寄附者
29.4.1～ 32.3.31 (3年間) 平成29年4月設置	革新的バイオ 才医薬創成 学講座	大学院 薬学研究院	国民の健康と福祉の向上に貢献するため、日本国民の主要死因である循環器疾患・悪性疾患をターゲットとして、革新的な次世代細胞・遺伝子医薬品候補を開発する。さらにこれらの最先端医療・医薬の患者への提供を速やかに実現するために、基礎研究に留まらず臨床試験を強力に進めるトランスレーショナルリサーチ推進機関としての役割を担い、中期的に先進的なバイオ医薬研究開発センターを目指す。	総額 60,000千円	寄附講座教員 (教授) 米満 吉和 寄附講座教員 (助教) 原田 結	株式会社アイロムグループ
29.1.1～ 31.12.31 (3年間) 平成29年1月設置	重症心肺不全 講座	大学院 医学研究院	重症心肺不全に対する集学的治療のさらなる発展のため、救急からVADまでをシームレスに治療に関わるセンター化、薬物療法およびペースメーカーやCRT-D等を用いた心不全治療とVADを用いた重症心不全治療の包括化、植込型左心VAD(iLVAD)管理体制の充実、DT時代に備えた準備、小児心不全治療体制の確立を目的とする。	総額 145,000千円	寄附講座教員 (助教) 藤野 剛雄	日本メドトロニック株式会社 社会医療法人財団 池友会 セント・ジュード・メディカル株式会社 ニプロ株式会社
28.12.1～ 32.11.30 (4年間) 平成28年12月設置	加齢病態修 復学講座	大学院 医学研究院	内科学の発展のため、特に加齢と炎症に伴う恒常性の変化を、血液、腫瘍、神経分野において研究し、正常から異常への変化を分子レベルで明らかにし、その結果を新規医療技術開発に応用する。さらに、病態修復内科学講座の関連分野における大学院教育に貢献することを目的とする。	総額 180,000千円	寄附講座教員 (准教授) Md. Shamim H ossain	株式会社FBR (Fujino brain Research)
28.10.1～ 33.9.30 (5年間) 平成28年10月設置	造船中核人 材育成講座	大学院工学 研究院	九州大学において、我が国における造船教育の将来への継承化と発展のための人材育成および造船教育で重要な実践的教育の実施を目的とした教育研究の進展および充実に資することを目的とする。	総額 105,000千円	寄附講座教員 (教授) 安澤 幸隆 寄附講座教員 (助教) 藤 公博	ジャパンマリンユナイテッド株式会社 三井造船株式会社 川崎重工株式会社

設置期間及び 設置年月	講座名	部局	設置目的	寄附金額	教員	寄附者
28.10.1～ 30.9.30 (2年間) 平成26年10月設置 平成28年10月更新	応用病態修 復学講座	大学院 医学研究院	内科学の発展のため、血液、腫瘍、循環器、免疫学 分野を統合的に研究することにより、新規医療開発に 貢献する。	総額 70,000千円	寄附講座教員 (准教授) 小田代 敬太 寄附講座教員 (助教) 菊繁 吉謙	一般財団法人地域医学研究 基金
28.7.1～ 31.6.30 (3年間) 平成28年7月設置	眼病態イメ ージング講 座	大学院 医学研究院	眼疾患に関する新規治療の開発とその成果を可視化 する技術を研究するため。	総額 60,000千円	寄附講座教員 (准教授) 池田 康博 寄附講座教員 (助教) 本園 千尋	株式会社ニデック
28.4.1～ 33.3.31 (5年間) 平成28年4月設置	機能性多糖 分析学講座	大学院 農学研究院	機能性多糖分析講座は、食品機能性の有効利用を通 じて国民の健康向上に資することを目的として、食品 に含まれる多糖類の機能性評価ならびにそれら機能性 発現の作用機作に関する解析を進めると共に、多糖類 の定量解析系を新規に確立することで、学術および産 業界の発展への貢献を目指して設置する。	総額 60,500千円	寄附講座教員 (准教授) 宮崎 義之	株式会社ヴェントカーノ 特定非営利活動法人NPOフコ イダン研究所
27.10.1～ 30.9.30 (3年間) 平成27年10月設置	脳神経治療 学講座	大学院 医学研究院	難治性脳神経疾患の臨床的・基礎的研究を行なう。 これには脱髄性疾患(多発性硬化症や視神経脊髄炎)、 重症筋無力症、慢性炎症脱髄性多発根神経炎などの免 疫性神経疾患のみならず、筋萎縮性側索硬化症などの 神経変性疾患、認知症性疾患、脳血管障害など幅広い 疾患を含む。医学部4～6年生の講義や臨床実習におい てこれらの疾患についての病態の解説を行い、この領 域の教育に寄与する。	総額 33,000千円	寄附講座教員 (准教授) 磯部 紀子 寄附講座教員 (助教) 中村 優理	田辺三菱製薬株式会社 一般社団法人日本血液製剤 機構 バイエル薬品株式会社
27.10.1～ 32.9.30 (5年間) 平成27年10月設置	機能水・機 能性食品・ エネルギー 講座	大学院 農学研究院	機能性食品や機能水には種々の疾病改善や予防効果 があり、その実証及び分子レベルでの作用機序の解明 を目指すことにより医療、農業、工業などの産業だけ でなく様々な応用分野における進展を図り、広く社会 に貢献することを主な目的として設置する。	総額 87,500千円	寄附講座教員 (准教授) 富川 武記	第一産業株式会社 株式会社日田天領水 株式会社野口総合研究所

設置期間及び設置年月	講座名	部局	設置目的	寄附金額	教員	寄附者
29.4.1～ 31.3.31 (2年間) 平成27年4月設置 平成29年4月更新	現代社会論講座	大学院 法学研究院	学生の知的好奇心を刺激し、現代社会を捉えることによって未来への展望を導き出すことを目指す。	総額 19,704千円	寄附講座教員 (教授) 田端 良成	株式会社西日本新聞社
29.4.1～ 32.3.31 (3年間) 平成26年4月設置 平成29年4月更新	地域医療学講座	大学院 医学研究院	地域の分娩体制が脆弱である指宿市を含めた指宿地区医療圏における地域医療体制のあり方及び整備方針に関する調査・研究を実施し、南薩地域の地域医療体制の整備を図る。 また、不足感の高い産科・産婦人科の医師の技術向上に繋がる研修プログラムを開発することにより、産科・産婦人科を志す医師の支援に資する。	総額 52,500千円	寄附講座教員 (准教授) 浅野間 和夫	指宿市
28.4.1～ 31.3.31 (3年間) 平成25年4月設置 平成28年4月更新	体表感知学講座	大学院 医学研究院	健康な皮膚を科学し、維持し、体表環境の変化によって異常状態に陥るのを予防するという観点に立って実学的領域の研究を推進することにより、皮膚疾患の予防からアフターケアまでのサイクルに貢献できる医療及び産業基盤の確立を行うことを目的とする。	総額 90,000千円	寄附講座教員 (准教授) 中原 剛士 寄附講座教員 (助教) 宮崎 玲子	マルホ株式会社
28.4.1～ 31.3.31 (3年間) 平成22年4月設置 平成25年4月更新 平成28年4月更新	分子イメージング・診断学講座	大学院 医学研究院	先進的画像診断機器を活用し、分子レベルの生体機能情報などの情報を取り出し、それらの情報を画像化、又は融合させることなどにより、より精度の高い診断方法の検討を行うとともに、治療方法の選択、予後予測などへ貢献できる新たな知見を得ることを目的とする。	総額 105,000千円	寄附講座教員 (准教授) 樋渡 昭雄 寄附講座教員 (講師) 中山 智博 寄附講座教員 (助教) 山崎 誘三	バイエル薬品株式会社 株式会社フィリップス エレクトロニクスジャパン
28.4.1～ 31.3.31 (3年間) 平成22年4月設置 平成26年4月更新 平成28年4月更新	周産期・小児医療学講座	大学院 医学研究院	地域の分娩体制が脆弱である田川保健医療圏を含めた筑豊地区における周産期医療体制のあり方および整備方針に関する調査・研究を実施し、筑豊地域の周産期医療体制の整備を図る。また不足感の高い産科・産婦人科および小児科の医師の技術向上に繋がる研修プログラムを開発することにより、産科・産婦人科および小児科を志す医師の支援に資する。	総額 180,000千円	寄附講座教員 (准教授) 落合 正行 寄附講座教員 (助教) 貴島 雅子	福岡県

設置期間及び 設置年月	講座名	部局	設置目的	寄附金額	教員	寄附者
30.4.1～ 33.3.31 (3年間) 平成19年5月設置 平成22年4月更新 平成24年4月更新 平成27年4月更新 平成30年4月更新	創薬腫瘍科学講座	大学院 薬学研究院	がんを中心とした治療のための創薬を実学として実践できる人材と創薬腫瘍に関する独自性が高く高水準の研究を発信することを目標とする。また、本講座よりがん患者へ有用性の高いがん治療の創出と専門性の高い若手研究者の人材育成の実践が可能である。	総額 90,000千円	寄附講座教員 (准教授) 渡 公佑	社会医療法人雪の聖母 会
30.4.1～ 32.3.31 (2年間) 平成28年6月設置 平成30年4月更新	富士通スペ ンサリ研究部 門	サイバーセ キュリテイ センター	グローバルはもとより、日本国内でも増加の一途をたどるサイバー攻撃に対して産業界官公庁、自治体等でも人材育成が急務となっている。このような状況下において、高等教育機関においてサイバーセキュリティに関する、基礎教育、専門教育、スペシャリスト教育のための、教育プログラム、学生の評価方法の研究開発を行い、将来のサイバーセキュリティに関する様々なスペシャリストの育成を可能とする。	総額 20,000千円	寄附研究部門教員 (准教授) 金子 晃介	富士通株式会社
30.4.1～ 31.3.31 (1年間) 平成30年4月更新	循環器病先 端医療研究 開発学部門	循環器病未 来医療研究 センター	日本は独創的な先端技術を基盤にして医薬品・医療機器を実用化する先端医療開発分野での競争力は欧米と比較して劣っており、その分野における教育（人材育成）も立ち後れている。ナノテクノロジー等の日本が世界に先駆けて研究開発してきた先端技術は、日本発の革新的次世代医療の創出の「切り札」と期待されている。平成25年度に政府が決定した「日本再興戦略」「健康・医療戦略」の優先施策と成っている。 循環器病先端医療研究開発学部門は、日本発の独創的な革新的低侵襲医療の研究開発の研究・教育の進展と充実に貢献することを目的としている。	総額 15,000千円	寄附研究部門教員 (教授) 江頭 健輔	株式会社先端医療開発